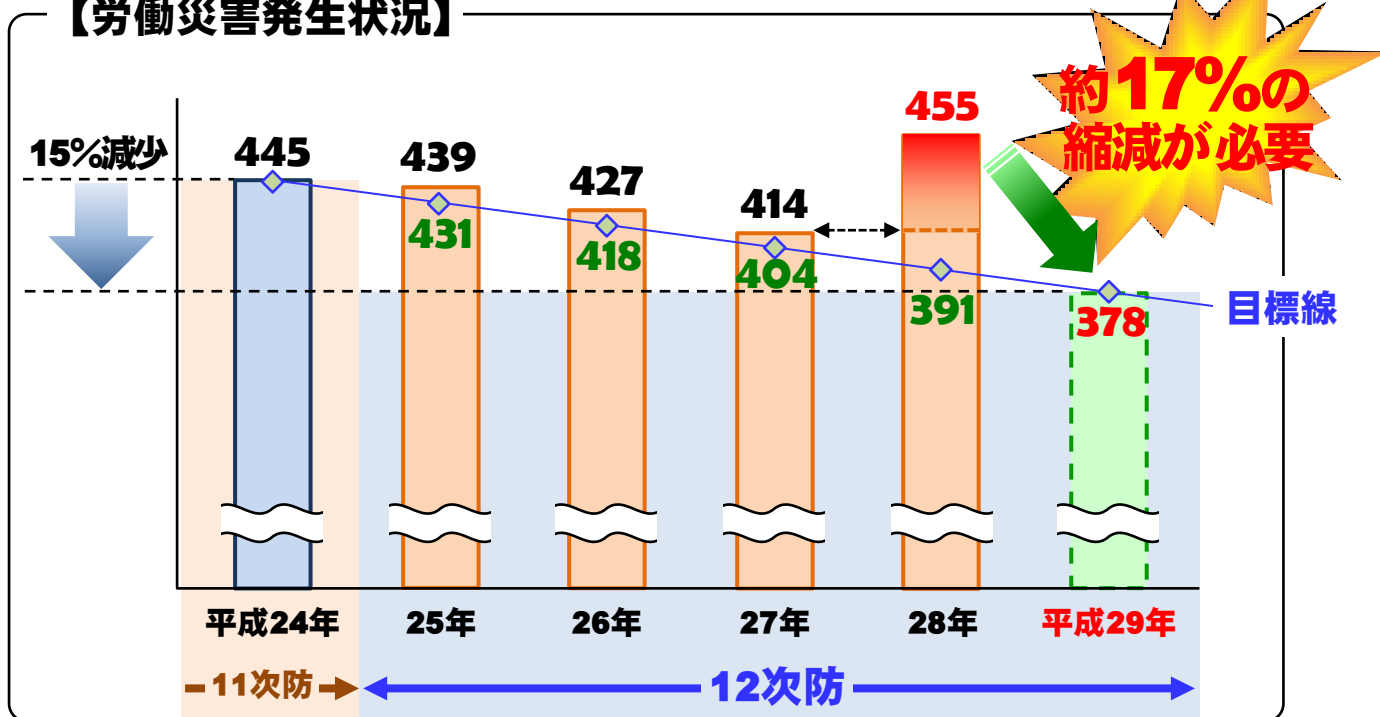


労働災害が多発！

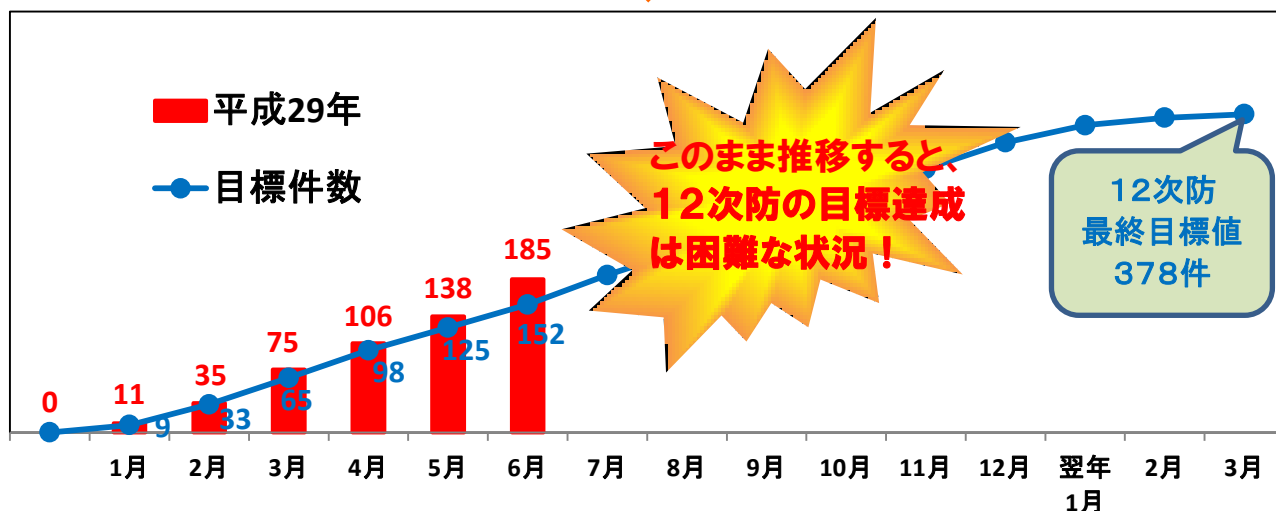
～刈谷監督署管内で死亡災害をはじめとする労働災害が急増しています～

【労働災害発生状況】



平成25年から平成27年までの3年間、連続して減少してきた労働災害の発生件数は、平成28年に入ってから増加の一途を辿り、その数は455件に上りました。

今年に入ってから改善の兆しは見られません！



～ 第12次労働災害防止計画(12次防)の目標 ～

死傷者について、平成29年において、平成24年と比較して15%以上減少させること

目標達成のため、更なる取組が必要です。

＜平成 29 年中に発生した労働災害の発生件数＞

（6 月末時点）

業 種	今月件数	累計	対前年 増減数	業 種	今月件数	累計	対前年 増減数
製 造 業 計	17	73 (2)	-15 +1	建 設 業 計	1	13 (1)	+2 +1
食 料 品	7	17	+10 -1	土 木		1	
織 維	1	3	+2	建 築	1	10 (1)	+1
木材・木製品		1		そ の 他		2	+2
製紙・印刷		1	-3	交 通 ・ 運 輸 業	8	28	+6
化 学	1	10 (1)	+1 +1	陸 上 貨 物 業		1	+1
窯業・土石	1	4	-6	港 湾 荷 役 業			
鉄鋼・非鉄		6 (1)	-4 +1	商 業	8	28	-3
金属製品	1	10	-8	接 客 ・ 娯 楽 業	3	11	+2
一般機械	2	3	-2	清 掃 業		7	+3
電気機械		2					
輸送用機械	2	13	-6	上 記 以 外	9	24	-3
その他製造	2	3	+1	合 計	46	185 (3)	-7 +2

※ 本当計は、平成 29 年 6 月末までに受け付けた労働者死傷病報告（休業4日以上）の件数を集計したものです。
 ※ ()内は死亡者数を内数で表しています。

すでに 3 件の死亡災害が発生しており、憂慮すべき状況です。

＜ 死 亡 災 害 の 概 要 ＞

No.	発生月 業 種	年齢 経験年数	事故の型 起因物	災害状況
1	2 月 建設業	70 代 20 年	墜落・転落 屋根・梁等	建屋解体工事現場でスレート屋根をはがす作業終了後、地上に降りようと梁の上を移動していた際に、約 7.5 メートル下の地面に墜落したもの
2	3 月 製造業	40 代 10 年	火災 引火性の物	被災者が、ドラム缶内に残った廃油等を動力ポンプを使用して鉄製の容器に移していた際、廃油等が床に漏れて炎上した。このとき、被災者に引火し、死亡したもの
3	5 月 製造業	10 代 1 年	飛来・落下 金属材料	コイル切断加工機械に、被災者がコイルのセッティング作業をしていたところ、落下した当該コイルに激突されたもの ※コイル：ロール状の鉄板、重量 11.92 トン

＜事故の型別の災害発生状況＞

転倒	22%
墜落・転落	25%
はさまれ・巻き込まれ	11%
動作の反動・無理な動作	14%
その他	28%

事故の型では、依然として「転倒」災害、「墜落・転落」災害、「はさまれ・巻き込まれ」災害が多くを占めています。

転倒災害は、業種を問わず、作業内容にかかわらず、どこでも、誰にでも起こるものです。

また、「墜落・転落」災害、「はさまれ・巻き込まれ」災害などの重篤な災害が、これまで重点的に労働災害防止対策を講じてきた箇所や災害の発生を想定していない箇所でも発生しています。

すべての危険源を把握し、それに関わるリスクへの対応をしっかりと行いましょう。関係するすべての人が安全意識を高め、組織全体で、安全文化の構築に取り組みましょう。

働くことで 生命が脅かされたり、健康が損なわれたりすることがあってはなりません。

「災害ゼロは実現できる」との強い信念を持って、
労働災害防止対策に、より一層取り組みましょう。